

つなぐ、フリーペーパー

Paper Smart

TAKE FREE

vol.
13
2025 Apr.

新しい治療で
自分らしく

気になる!
PRP治療体験談



バックナンバーがWEBから
ご覧いただけます。



本誌に掲載されている記事、写真、図表などの著作権は、スマートクリニックまたは著作者に帰属します。無断での複製、転載、翻訳、販売などを禁じます。
また、本誌に掲載する体験談は、個人の見解に基づくものであり、これをもって一般的な効果や結果が保証されるものではありません。

Paper Smart Vol.13

PRP治療とは？

PRP 治療 (Platelet-Rich Plasma Therapy) は、自分自身の血液を使った治療法です。採血した血液から血小板を多く含んだ部分 (PRP: 多血小板血漿) を抽出し、それを膝に注入します。この治療法は、体が本来持っている自己治癒力を高め、炎症を抑え、軟骨や組織の修復を促進し、痛みを和らげることなどを目的としています。現在スマートクリニックグループでは、多治見スマートクリニック、京都スマートクリニック円町にて PRP 治療を実施しています。今回は京都スマートクリニック円町にて PRP 治療を受けられているゲストにお話を伺いました。

WHAT IS
PRP THERAPY?

01



80代男性 H・Y 様

趣味を楽しみ続けられる毎日を

5年ほど前から膝の痛みで悩まされてきたH・Yさん。趣味のゴルフを続けたい、そんな想いで PRP 治療を始められました。今回のインタビューでは PRP 治療の可能性とともに、趣味を通じて生きがいを感じる大切さを伺いました。

Q ゴルフを始めたいきっかけは？
— 40～50年前に仕事仲間からコンペに誘われて、健康のためになると思い始めました。元々、高校と大学で剣道をしていましたが、社会人になってからやる機会がなくなってしまって。ちょうどその頃、会社のコミュニケーションツールとしてゴルフが普及し始め、プレイする機会が増えていきました。以来私にとってゴルフは一番の趣味となり、もう何十年もはまっています！最近ではエイジシュート（※ストロークプレイを行った時に、18ホール1ラウンドのスコアが自分の年齢以下の総打数でホールアウトすること）を目指して奮闘しています。

Q 膝はいつから調子が悪くなり始めましたか？
— ここ5年位です。75歳の時に痛みが強くなり始めて、注射を打ったり痛み止めを使いながら過

ごしていました。ゴルフも痛い痛いって言いながら続けていましたが、それではどうも楽しめない。楽しむためにはこの膝を治したいけど何か良い方法はないかなあ、と思い悩んでいた時に、ラジオでスマートクリニック代表の福田先生のPRP治療の話を知りました。このまま症状が進んだら手術が必要になるかもしれないという恐怖心がありましたし、なんとしてでも大好きなゴルフを続けたいという一念でこちらにきました。

Q PRP 治療に対してどのようなイメージをお持ちでしたか？
— 再生医療と聞いて、京都大学 iPS 細胞研究所の山中伸弥先生が頭に浮かびました。いずれ様々な形で広がっていくと聞いていたもので、膝の治療もできるようになったんだ、とピンとききました。自由診療なので治療費が気になりましたが、月々の金額が極端に高くはなかったので、家内も「やっ

てみたら」と賛同してくれました。

Q 実際に治療してみて、効果は感じますか？
— まだごちないところはありますが、2回目の PRP 投与あたりから痛みを感じなくなりました。すぐに効く訳ではありませんが、以前とはもう全然違う状態で、ゴルフも踏ん張って楽しめるようになってきました。自分のペースで思い切りプレイできるようになったので、結構良いスコアが出るようになったんですよ！
今 80 歳ですが、残り少ない人生をただ生きているだけじゃつまらないです。85 歳、90 歳になっても趣味を楽しみ続けられる毎日を送りたいと思っています。

Q PRP 治療を考えられている方へ一言お願いします
— PRP 治療はまだよく知られていませんが、副作用も少ないですし、色々ある治療方法の選択肢の

1つとして知っておいても良いかと思います。人によって効果に差はあるかもしれませんが、やって

みないと分かりません。少なくとも私はとても良くなって、普通にゴルフができる自信が付きまし

た。経済的にちょっと難しいところもありますが、やってみる価値があると思います！

02



70代女性 T・N 様

自分の血液を使う治療法がいい

膝の痛みが生活を一変させたT・Nさん。手術以外の選択肢を模索する中で出会ったPRP治療。治療後、痛み止めが不要なほど症状が改善した実感を語っていただきました。

Q 治療を受けたきっかけは？

— 体には自信があったのですが、2年前に駅への道中で右膝を痛め、変形性膝関節症と診断されました。膝の水を抜いたりヒアルロン酸注射を試しましたが改善せず、痛みがひどくなったため大きな病院で MRI を受けた結果、膝の骨折と判明しました。人工関節置換手術を勧められましたが、仕事の都合で手術は選択できませんでした。ひどい骨折ではなかったため、ひとまず筋肉を鍛える治療を試みましたが、症状が改善しなかったため、専門の病院を受診しました。その時に、受付で PRP 再生医療の宣伝動画を見まして。先生に詳しく伺ったら「効き始めまで 2～3 回の投与は必要だけど手術不要ですぐにできる治療ですよ」と言われて興味を持ちました。家に帰ってネットで PRP 再生医療のことを色々調べていたら、iPS 細胞の研究をされている山中伸弥先生の画面が出てきて、そのつながりで偶然京都スマートクリニック円町の画面が出てきました。

治療費も思ったより安かったし、山中伸弥先生とつながりがあるとところだったら信用できそうだと思います。こちらに連絡しました。

Q PRP 治療に対してどのようなイメージをお持ちでしたか？

— 自然療法が好きなので、自分の血液を使って治療する PRP 再生医療は絶対に良いと感じました。

Q 実際に治療されてみて、効果の実感がありますか？

— まだ1回しか PRP 投与を受けていませんが、痛み止め薬や湿布がいらなくなっています。投与から2～3日はさほど変わりませんでした。1週間経ったらすごく楽になりました。立ち上がりも、痛みで気合を入れないといけませんでしたが、今ではずっと立てるようになりました。また、膝が痛かった時は自宅の階段の上り下りが大変でしたが、今ではススッと上られるようになっています。

Q リハビリを受けてみていかがですか？

— 他院のリハビリでは大抵最初に電磁波治療をしますが、こちらではそれがなく、個別に足の状態を見ながらリハビリをしてくれるのでありがたいな、と思います。

Q PRP 治療を考えられている方へ一言お願いします。

— 皆さんにも受けていただきたいです。合う合わないはあるかもしれませんが、私は合いました。先日、両膝人工関節置換術をした40代の男性の方とお会いしましたが、PRP 再生医療のことを教えてあげられたら良かったのかな…と思いました。

【編集後記】

今回のインタビューでは、PRP 治療を通じて生活の質を改善されたお二人のお話を伺いました。それぞれの挑戦や実感を通じて、PRP 治療が多くの方々に新たな希望を与える治療法であることを感じました。このインタビューが、治療を検討している方々の参考となれば幸いです。